

# 米国金融政策（2019年6月）

## 利下げ姿勢の強まり

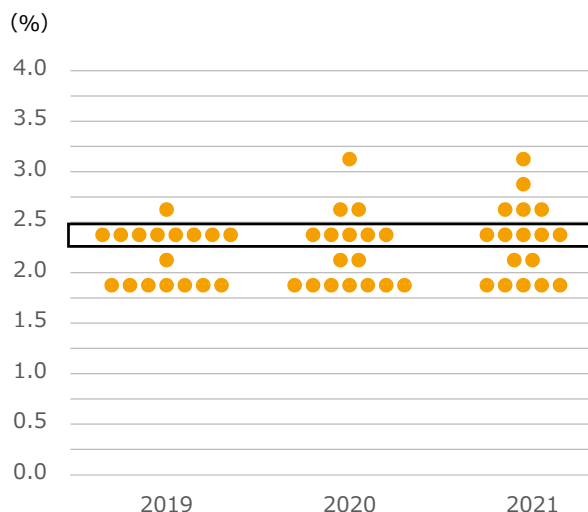
2019年6月20日

### FOMC参加者の利下げ予想が続出

2019年6月18、19日（現地）開催のFOMC（米国連邦公開市場委員会）では、政策変更こそ見送られたものの、声明文の記述と政策金利の見通しが大幅に修正されました。声明文中、政策変更の決定においては「忍耐強く」との従来の表現が、経済見通しを勘案して「適切に行動する」へと、利下げを意識した表現に改められました。要因は不確実性の高まりにあり、パウエル議長は記者会見で、世界経済の下振れ、貿易に係る不透明感、企業景況感の悪化、インフレ圧力の低下などに言及しています。FOMC参加者の政策金利の見通しは、これまでと一変して利下げ予想が続出しました。2019年については17名中8名が利下げを、うち7名が0.5%ポイントの利下げを予想しており、2020、2021年末に至っても政策金利は現在の水準を下回るとの見通しが少なくありません。

当面の金融政策の鍵を握るのが、今月下旬のG20（主要20カ国・地域）大阪サミットに合わせて開催予定の米中首脳会談です。仮に米中の通商協議が合意に至れば、センチメントの改善が期待され、一時的にせよ利下げ機運は後退するでしょう。しかし、2%のインフレ目標の達成が見通し難いようであれば、早晚利下げが実施される可能性が高いと考えられます。米国では失業率が50年来の低水準にあり、株価も史上最高値圏で推移しており、「予防的な」利下げは景気、株価の下支えとして働くことが期待されます。

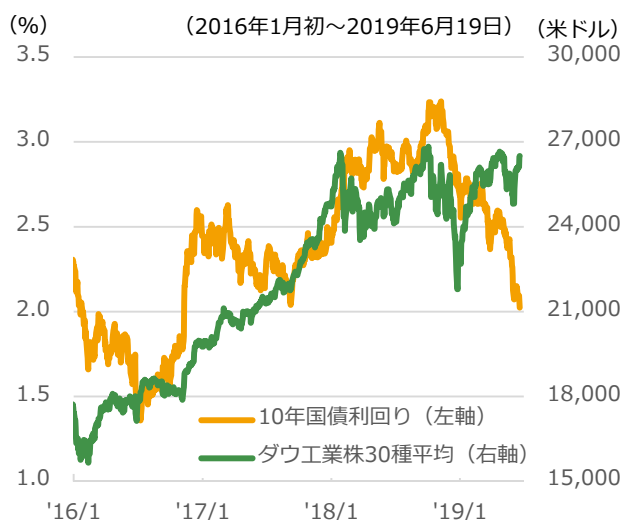
#### ■ FOMC参加者の政策金利の見通し



※各年末時点の政策金利の見通し  
 ※現在の水準は枠囲みの2.25~2.5%

(出所) 米国連邦準備制度理事会

#### ■ 米国の金利と株価



(出所) ブルームバーグ

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

この資料は情報提供を目的として作成したものであり、特定の商品の投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

**金融商品取引法に基づきお客様にご留意いただきたい事項を以下に記載させていただきます。**

## むさし証券の概要

商号等：むさし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

### リスクについて

国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券(上場有価証券等)の売買等に当たっては、株式相場、金利水準等の変動や、投資信託、投資証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品等(裏付け資産)の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格等が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 新株予約権、取得請求権等が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。

◎ 上場有価証券等が外国証券である場合、為替相場(円貨と外貨の交換比率)が変化することにより、為替相場が円高になる過程では外国証券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では外国証券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。

※ 裏付け資産が、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等である場合には、その最終的な裏付け資産を含みます。

※ 新規公開株式、新規公開の投資証券及び非上場債券等についても、上記と同様のリスクがあります。

### 手数料等諸費用について

当社取り扱いの商品等にご投資いただく場合

各商品毎の所定の手数料をご負担いただく場合がありますが、商品毎に異なるため、ここでは表示することができません。

また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

投資信託につきましては、手数料の他、信託報酬等・その他の費用(監査費用、運営・管理費用等)等を御負担いただきますが、これらの費用等は、事前に計算できませんので表示しておりません。

当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料等をよくお読みください。

**【広告審査済】**